

かわぐち

2004. 3月号 No.366

今月の主な内容

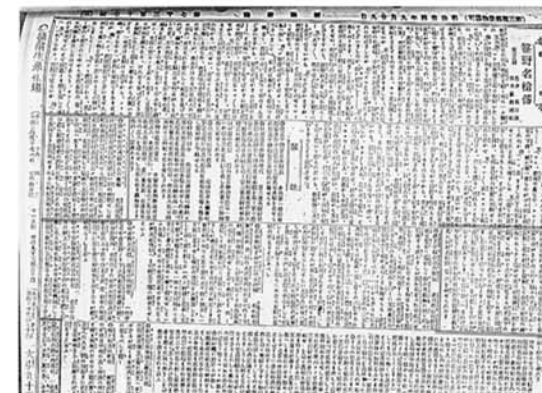
- 雪洞火ぼたる祭開催……………2～3
- 公的個人認証サービスが始まりました ……4
- 県の地域機関が変わります……………5
- かわぐち学びの里大学
15年度活動報告……………6～7
- 総合学習の成果を発表(川口中) ……8
- 下水道の普及率が94%を超える……………9
- ほか



勇壮と夢幻～雪洞火ぼたる祭～

2月7日、8日雪洞火ぼたる祭が開催されました。初日にはこの祭を待っていたかのような大雪となりましたが、町内外からたくさんの観客が集まり、勇壮に燃えるたいまつと静かな火ぼたるの夢幻の世界を心ゆくまで満喫していました。

かわぐち歴史探訪 ②4 津山村行政機関中止



▲津山村役場行政機関を中止したことを報じる新潟新聞

町村制は明治22年発足して後、明治34年に再び政府は新たな合併を促進させていた。日清戦争後の財政難、明治29年、30年の大洪水、あるいは伝染病の流行などで地方財政もパンク寸前であった。衛生費、教育費などは町村財政に重くのしかかっていた。当時の柏田盛文知事は合併に対し「国の消長に関わる」として合併をすすめていた。

富国強兵が叫ばれていた時代、貧困に窮する国民の増加も社会問題となっていた。その上に明治31年には土地に対して増税、その後も増税を繰り返している。

明治34年9月29日付け新潟新聞によれば、津山村と川口村の合併問題で、津山村役場吏員、村議会議員が

総辞職して、行政機関が休止していると報じている。これについては津山側では条件付きで賛成し、すでに県に報告し9月28日には内務省から許可がおりている問題であった。県では816町村を456町村に取りまとめを強行。

郡役所では9月25日、翌26日と書記を派遣して説得に当たったと言う。県は10月6日、町村の廃置分合を告示して決着したのであったが、その後も合併反対が盛んであったと言う。

この時の合併は津山と川口、上川と稗生で、明治34年11月1日のことであった。農村の窮乏は日露戦争を経てその後の昭和恐慌へつながって行く。

あとがき

▼今年の雪洞火ぼたる祭は、大雪になり雪灯り作成などの準備に参加された住民の方は大変だったのではないのでしょうか。しかし、こうしたみなさんの協力で祭りは盛大に終わることができました。▼企画商工課には、東京都から来られた方から手紙が届きました。そこには町中に灯る雪灯り、勇壮なたいまつ競争、花火に感動し、また訪れたいといった内容が書かれていました。このように喜んでくれる方がいることは、大変うれしいことです。来年も来場された方が、より感動できる祭りにできたいと思います。



▲フリー参加ゲーム

8日 昼の部



▲地区館対抗雪上レクリエーション
狛江市からも出場いただきました



▲越後三山スノーライダー



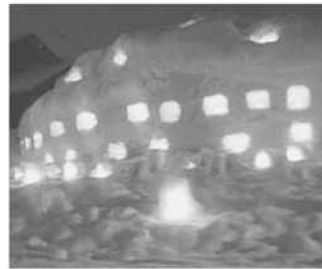
▲たいまつ競争に優勝した
東川口地区



◀和南津地区の応援に
サムライも駆けつけました



町にはユニークな
雪灯りがいっぱい



ボランティアの皆さん大活躍

県内外から72名のボランティアが、参加したくさんの雪灯りを作成していただきました。

また、オープニングセレモニーの点火式に参加、ステージ前の「メモリアルアート」に思いを込めたロウソクを灯しました。



参加いただいた皆さん、ありがとうございました

今年の祭当日は、大雪となり雪洞や雪灯り回廊作りには大変な苦勞にもかかわらず、大勢の町民の皆さんから参加いただき、「雪洞火ぼたる祭」は大成功のうちに無事終了することができました。

また、皆さん一人一人の手によって灯されたキャンドルが町中を温かな灯りで包み込み、町民が一体となった祭りを創り上げることができました。

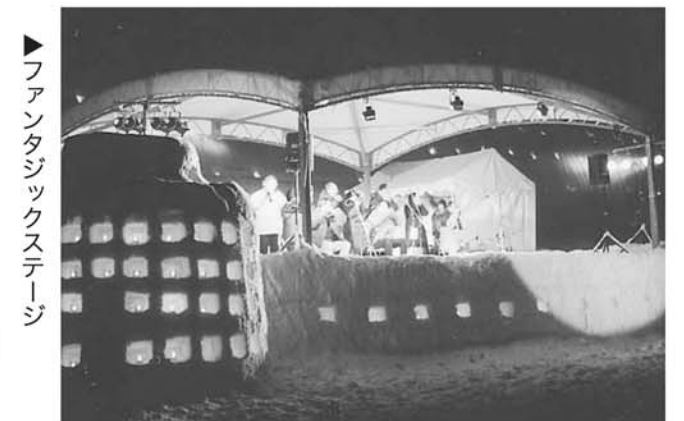
参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

第6回えちごかわぐち物語'04冬
雪洞火ぼたる祭

「勇壮と夢幻がとけあう、心ふるわせる感動に出会う」をキャッチフレーズに第6回えちごかわぐち物語「雪洞火ぼたる祭」が開催されました。
町内各地には4万本の雪灯りが二斉に広がり、幻想の街並みが創出されました。メイン会場になった蒼丘の杜公園には、大勢の観客が集まり勇壮と夢幻の世界に酔いしれました。



▲幻想的な火ぼたるむら



▶ファンタジックステージ



▲食の幸めぐり



▲ふるさと雪洞ぼたる



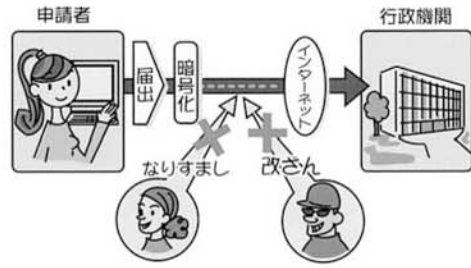
▲フィナーレは冬の夜空にスターマイン

住基ネットで広がる便利な社会 公的個人認証サービスが始まりました

行政機関への申請手続きが自宅などのパソコンからインターネットを介し手軽にできるようになります。

公的個人認証サービスとは

IT社会の到来により、様々な行政手続がインターネットを通じてできるようになります。この際「他人によるなりすまし申請」「通信途中での改ざん」などを防ぐ必要があります。



公的個人認証サービスは、電子証明書(電子的な印鑑証明のようなものです)を公的機関が発行することにより、これらの不正を防止するとともに、全国どこからでもインターネットでサービスが利用できます。

こんな申請に利用できます

・恩給関連申請(総務省) 2月16日から

・国税電子申請(国税庁) 6月1日から

・社会保険関係申請・届出(厚生労働省) 時期調整中

※その他、今後も順次拡大される予定です。

住民基本台帳カードを利用

電子証明書はICカードに保存し、行政機関などへの申請手続き時にICカードリーダーライターで読み出して利用します。

この電子証明書を保存できるICカードは一定の規格を満たすものとなり、現在では「住民基本台帳カード」のみが利用できます。

公的個人認証サービスを利用するには

現状では、電子証明書を保存するために住民基本台帳カードが必要ですが、(お持ちでない方は、役場窓口で発行しています。有料で500円となります)住民基本台帳

4月1日から 県の地域機関が変わります

県の地域機関は、県民へのサービス、地域振興、市町村への支援を一層強化するため、地域振興局を設置し、業務を総合的、一体的に行う機関に変わります。
また、所管区域の見直しも行われ、皆様から申告や届出手続きをいただいたり、ご意見ご相談をお寄せいただく機関が変更になります。

地域振興局に関するQ&A

Q 地域振興局になると今までの地域機関とどこが変わるの?

A 地域振興局長は、地域の総括責任者として局内各部の指揮・監督、総合調整などを行います。

●個別事務所では難しい各分野の横の調整や事業連携の向上が実現されます。

●地域で総合的な企画立案、部門調整、事業実施ができる体制になり、より充実した地域振興の実現につながります。

●市町村とのパートナーシップの強化が図られ、事業実施や情報交換が円滑になり、地域の活性化が図られます。

Q 健康福祉(環境)部になると、保健所はなくなるの?

A 保健所、福祉事務所、児童相談所はなくなるわけではありません。

例えば、難病、特定疾患の相談及び手続きなどはこれまでどおり保健所長の名前でお知らせしますが、実際の事務は地域振興局の健康福祉(環境)部で行うこととなります。福祉事務所や児童相談所も同様です。

Q 農政事務所や農地事務所はなくなるの?

A 農政事務所、農地事務所はなくなりません。

これまで農政事務所、農地事務所、農業改良普及センター、林業事務所で行っていた仕事は、地域振興局の農林振興部で行うこととなります。

問い合わせ

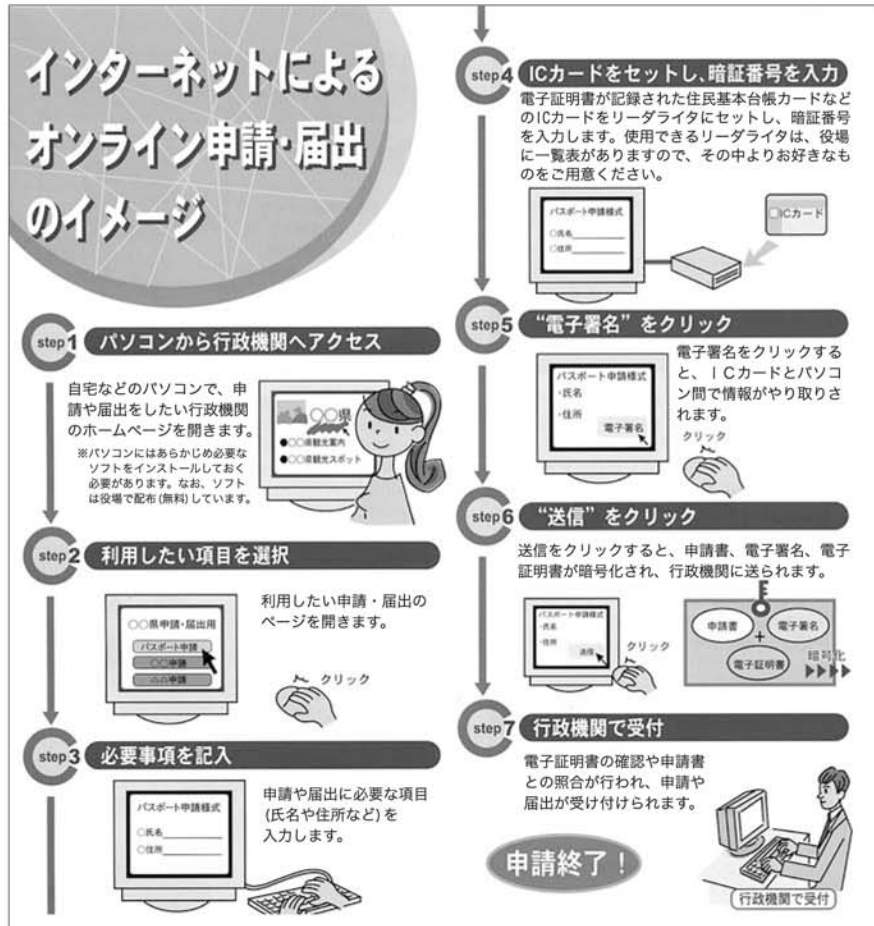
新潟県長岡地域振興事務所

総務課

TEL 38-25001

FAX 38-26700

部門	これまで	平成16年4月から
地域振興	長岡地域振興事務所	長岡地域振興局
労政	長岡労政事務所	
県税	小千谷県税事務所	
農政	魚沼農政事務所	
農改	北魚沼農業改良普及センター	
農地	小出農地事務所	
林業	小千谷林業事務所	
土木	小千谷土木事務所	地域整備部(小千谷維持管理事務所) 地域整備部は大規模・広域的な業務を、また、維持管理的な現地性の高い業務については、維持管理事務所が長岡地域振興局(地域整備部)の内部組織として現地で対応します。
福祉	小出健康福祉事務所	小出地域振興局健康福祉部 健康づくり、福祉、医療や薬、食品や衛生、公害や廃棄物など、暮らしに密着した業務を行います。
保健		
環境	六日町健康福祉環境事務所	六日町地域振興局健康福祉環境部



カードと印鑑をご本人が役場窓口を持参いただければ、その場で手続きができます。(ただし、住民基本台帳カードに写真が入っていない場合は、運転免許証などの写真付の公的な身分証明書が別途必要です)なお、3月末日までは電子証明書の発行手数料は無料となっています。

(4月以降は有料で500円程度となる予定です)

問い合わせ 生活福祉課 町民係

TEL 89-4418

見て、聞いて、体験して 楽しく学んだ生涯学習

平成15年度「かわぐち学びの里大学」が終了

今年で5年目を迎えた「かわぐち学びの里大学」の15年度事業がほぼ終了しました。
この事業は町民27人で構成する生涯学習推進協議会の委員と役場スタッフが、様々な意見や要望を出し合い、計画されたものです。今年度の講座の活動状況について紹介します。

ふるさと川口塾

毎年、川口町にちなんだテーマで学習するこの講座は今年度「まつり」について学びました。
今年度は、体験型の学習で今、各地で盛んに行われている「よさこい」を実際に体験しました。
講師に小千谷市の「祭やクラブ」を招き、よさこい踊りの基本から学びました。
参加者は町内の女性を中心に約30名が集まりました。実際に踊ってみるとよさこい踊りは体力が必要な踊りで、大粒の汗をかきながら練習していました。
秋祭りには発表会に参加し、息の合った踊りを披露しました。



▲秋まつりでよさこいを発表

長寿塾

高齢者を対象にした、仲間づくりや現代的課題の学習などを行う講座で、今年も様々な学習を行いました。川口町の歴史を学んだり、信濃川の歴史を大津津分水資料館で学んだり、地域の様々な課題について学習しました。

絵画教室



▲蒼丘の杜公園での写生

講師に美術教員OBの「グループ響」を迎え、水彩画や油彩画の手法を学ぶこの教室は、10月4日、5日の2日間、秋晴れの中で行われました。

パソコン教室

今年度は川口の写生ポイントをマップにして参加者に紹介しました。牛ヶ首の棚田や、蒼丘の杜公園から見える越後三山など、町外の参加者からは川口の景色が素晴らしい、また来たいという声が多く聞かれました。

写真教室

塾を本年度は多く実施しました。「ワード」「エクセル」「年賀状」などの人気のあるジャンルを選び、延べ10時間の講習を行いました。参加者は毎回熱心にパソコンを習っていました。



▲写真の講習会

ボランティア実践講座

交流体験館「杜のかたらい」を花いっぱいにならうと花壇作成を

福祉のまちづくりセミナー

地域の通りを花いっぱいにして暮らしやすいまちづくりを地域で実践していくこの講座は今年で4年目を迎え、現在、町内13グループになりました。子どもからお年寄りまで地域みんなで花を植えることによって、地域の美化のみならず、地域のコミュニケーションが生まれ、参加者は楽しみながら活動しています。

徐々に花作りも参加者で行っていかうという事で、種から栽培をはじめっていくグループも増え、自主サークル化に向けての活動が活発になってきました。



▲ホテル蒼丘前のシンボルロードの植付け

家庭教育学級 アットホームセミナー

子どものしつけや教育などに関する様々な問題を参加者と講師が話し合いながら学習していくこの講座は全5回。

今年度は、3世代同居が多い当町で、子どもに対して親や祖父母がどのように関わっていくかや、性教育などの現代的課題について、講師と話し合いを中心に講座を行いました。

各種講演会、コンサート

今年度も交流体験館「杜のかたらい」で、様々な講演会、コンサートが行われました。4月の「杜のフェスタ」では椎名誠さんの講演会や横小奈帆さんのシャンソンコンサートのほか、11月にはコーラス川口の「15周年記念コンサート」、

かわぐちっ子クラブ ウルトラかわぐちっ子クラブ



▲ウルトラかわぐちっ子クラブ「クッキングクラブ」

小、中学生を対象とした自然体験や生活体験を中心とした事業で、3月下旬のスキーツアーを残すのみとなりました。
登山や川遊びなど大自然の中で元気いっぱい活動したり、中華料理やお菓子作りなどのクッキングをしたり、今年度もたくさんの子どもたちが学び、体験しました。
この事業は、町内の小学校の交流も目的の一つで、各学校の児童たちが一緒に体験することで、交流の輪が広がりました。



▲椎名誠さんの講演会

12月にはピアノ発表を中心とした「クリスマスコンサート」が行われました。3月9日には帝京長岡高校吹奏楽部のふれあいコンサートが予定されています。
子どもからお年寄りまで多くの参加者が学んだ今年度の「かわぐち学びの里大学」事業は町民のみならず、皆さんの意見や要望を取り入れながら開催しています。
「いつでも・どこでも・だれでも」が学べる体制を整えることにより、みなさんが生きがいを持ち、いきいきと暮らせる社会となります。
町では来年度も「かわぐち学びの里大学」事業を継続して実施していく予定です。
事業内容は4月号広報かわぐちと一緒にちらしを配布しますのでみなさんの参加をお待ちしています。

子どもたちの生きる力を育む

総合的な学習の時間の取組み (3)

先月に引き続き町内の各学校の総合的な学習の時間の様子を紹介いたします。今回は3回目で、川口中学校を紹介します。

川口中学校

川口中学校では総合的な学習の時間として大きく3つの活動を行っています。

1つは4コースに分かれて、自分の興味や関心のある事柄について、課題を見つけ、調査、追究活動を行う時間です。これを「川中タイム」と呼んでいます。

その他に、学年ごとに行う学年総合の時間と、生徒会を中心に奉仕や協働活動を行う活動があります。

この3つの活動のうち、調査、追究活動を行っている「川中タイム」について紹介します。

川中タイムは「情報」「環境」「福祉」「地域」の4コースに分かれています。川口中学校ではコース別活動を学年ごとでなく、1年生から3年生までの縦割りと一緒に活動しています。この4コースの内容を紹介いたします。

環境コース

「環境」コースは、身近なゴミ問題から地球の温暖化問題まで幅広く個人テーマを設定しています。図書から得た情報を基に、各自で観察、調査を進め、記録カードにまとめることで、環境問題の実態把握に努めています。その他に、全員で国土緑化運動、育樹運動について学習し、標語づくりにも取り組みました。また、にいがたスクールエコ運動にも取り組み、資源を大切にしようとする心がけを確かなものになりました。



▲スクールエコ運動

地域コース

「地域」コースは「よりよい川口町にするためにどうすればよいのか」をテーマとし、各自が提言を考えました。アンケートやインタビューをしたり、文献や広報かわぐちを利用したりして調査活動を行い、自分の考えを練り上げました。

「方言」「ふれあい広場」、「町のバリアフリー」、「ゴミについて」、「川の汚染」と様々な分野からの提言があり、データや表を効果的に使った分かりやすい発表をした生徒が多かったです。

情報コース

「情報」コースは、調べたことや追究したことを他の人へ伝えたり発信していく情報伝達の手段を何にするかを考えながらテーマを決めました。

川口町のいろいろな情報を集め、ホームページを作ったり、プレゼンテーションソフトを使って表現したり、ビデオに取るなど情報伝達の効果的な方法について学ぶことができました。

福祉コース

「福祉」コースは「福祉とは何

か？」をテーマに様々な分野における福祉について調べたり体験したりしています。人数は58名とコースの中で一番多く13班に分かれて保育園訪問、町のバリアフリー調査など様々な活動を行っています。福祉について調べること、お年寄りや障害のある方々に何かやってあげることが福祉の第一目的ではなく、共に幸せに生きていくための方法を考えることが大切だということを学びました。



▲手話講座

総合的な学習を進めるに当たり、地域の方から様々な形でお世話になりました。職場訪問や職業体験をはじめ、調査、追究活動の資料集めとしての取材への協力、学校へ来ていただいた際の講座の講師、川口町の歴史や文化についてのアドバイスなどたくさん皆さんに支えられて総合的な学習を行うことができました。

下水道の普及率94%を超える

中山地区の一部

公共下水道3月31日供用開始

中山地区の一部(図1の黒く塗りつぶされた区域)で、3月31日から排水設備を設置することにより公共下水道が使用できるようになります。

町の下水道普及率は、平成15年度の下水道事業により94%を超え、新潟県全体の平均普及率約60%を大きく上回っています。

なお排水設備は、申請などの手続きを川口町排水設備指定工事店が代行して行いますので、指定工事店に依頼してください。

下水道事業の進み具合は

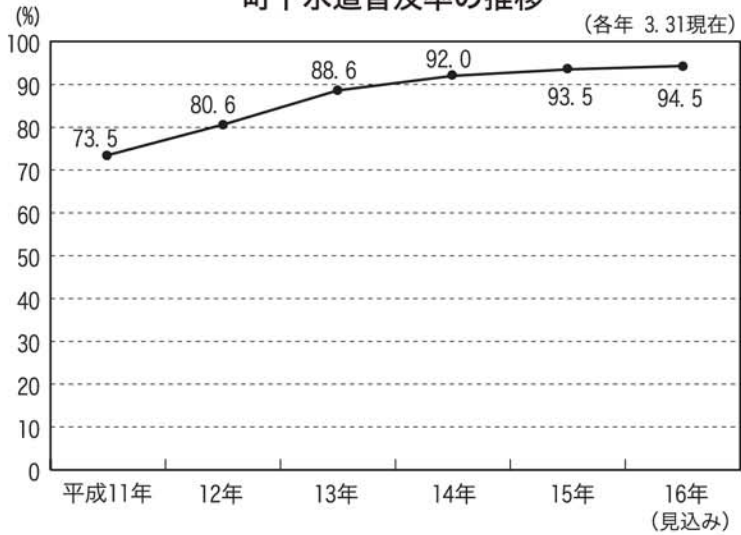
平成元年度から始まった町の下水道事業は、ほぼ完成に近づいてきました。

町全体の下水道普及率は、平成16年3月31日の見込みで94.5%、ちなみに新潟県全体の平均普及率は約60%です。

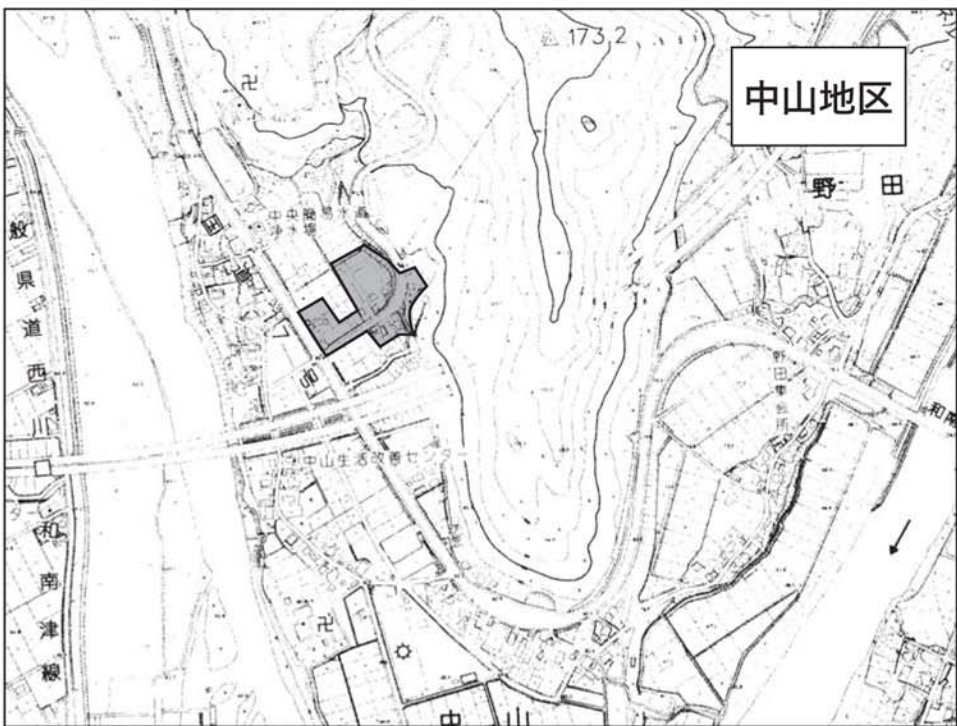
公共下水道、農業集落排水事業については、ほぼ完成を迎えようとしています。今後は個別排水処理事業の普及を図り、自然環境の保全及び生活基盤の改善をより一層図ってまいります。

平成16年度の下水道事業は、公共下水道事業として、越後川口SAから牛ヶ島農免橋を経由する西倉污水幹線下水道の整備、また個

町下水道普及率の推移



今回新たに供用開始となる区域



合併浄化槽の設置

別排水処理事業で合併浄化槽の整備を予定しています。

公共下水道、農業集落排水以外の区域の方は、合併浄化槽により汚水処理することになっていきます。

町では、平成16年度に合併浄化槽の設置を希望される方を募集します。申し込みまたは、詳細についてのご質問は、建設企業課下水道係までお問い合わせください。

問い合わせ
建設企業課 ☎89-4416

各種大会結果のお知らせ (敬称略)

- 北魚新春小・中学生書道展**
(1月31日・2月1日・小出郷福社センター)
- 大賞**
宮 拓実 (泉水小4年)
吉原有佳理 (川口中1年)
宮 倫世 (川口中3年)
- 準大賞**
渡辺 洋平 (川口小6年)
宮 紗智 (川口中1年)
吉原まり恵 (川口中3年)
- 優秀賞**
川上 里佳 (川口中1年)
- 奨励賞**
井浦 仁美 (川口中2年)
- 中越教育美術展**
- 特選**
石坂かおる (田麦山小1年)
網 智美 (泉水小2年)
広井 岳幸 (泉水小4年)
- 金賞**
小林 南斗 (泉水小1年)
網 大輔 (泉水小5年)
平沢 美玲 (泉水小5年)
- 銀賞**
宮 亜由美 (泉水小2年)
星野 香那 (木沢小2年)
笹崎 美樹 (田麦山小3年)
水落 涼介 (田麦山小3年)
鈴木 力也 (泉水小4年)
網 あすか (泉水小4年)
宮 拓実 (泉水小4年)
渡辺 織江 (田麦山小5年)
仁多見里奈 (川口小6年)

- 銅賞**
小見真理江 (田麦山小6年)
- 広井 達哉 (泉水小1年)
保科 玲奈 (泉水小1年)
大淵 朝香 (川口小1年)
小山 彩花 (川口小1年)
中澤 悠也 (川口小1年)
山田 綾乃 (川口小1年)
山森 健也 (川口小1年)
広井 稚菜 (泉水小2年)
宮 健 (泉水小2年)
佐藤 雅 (田麦山小2年)
北村 太一 (川口小3年)
山田 大登 (川口小3年)
小林 凌輔 (川口小3年)
石坂 竜亜 (田麦山小3年)
桜井 葵依 (田麦山小3年)
桜井 彩樹 (田麦山小3年)
佐藤 淳也 (田麦山小3年)
森山 翼 (田麦山小3年)
星野 直希 (木沢小3年)
広井沙優美 (泉水小4年)
広井 拓 (泉水小4年)
小宮山菜月 (川口小4年)
阿部 加織 (泉水小5年)
網 健太 (泉水小5年)
広井 灯 (泉水小5年)
大淵 亜美 (川口小5年)
北村 隼基 (川口小5年)
喜多村 芦香 (川口小5年)
古田島千秋 (川口小5年)
竹内 未来 (川口小5年)
網 香菜子 (川口小5年)
中林 夏希 (川口小5年)
山田 孝美 (川口小5年)
山森 絵莉 (川口小5年)

- 大淵 勇樹 (田麦山小6年)**
- 新潟県書き初め大会**
- 特選**
宮 倫世 (川口中3年)
- 準特選**
渡辺 洋平 (川口小6年)
井浦 仁美 (川口中2年)
- 新潟県硬筆書き初め大会**
- 準特選**
星野 香那 (木沢小2年)
- 新大全国硬筆大会**
- 準特選**
佐藤 雅 (田麦山小2年)
- 第10回川口町小学校親善クросカントリースキー大会**
(2/13・蒼丘の杜公園)
- 団体の部**
男子
1位 泉水小学校
2位 川口小学校A
3位 川口小学校B
女子
1位 川口小学校A
2位 泉水小学校
3位 田麦山小学校
- 個人の部**
5年男子
1位 川上 侑介 (川口小)
2位 大淵 晃 (川口小)
3位 内山 拓郎 (田麦山小)
5年女子
1位 山田 孝美 (川口小)

- 宮柁二記念短歌大会**
- 選者賞**
大淵 希 (川口中3年)
新潟日報社賞
江島 健矢 (川口中2年)
透逸 I
山田 麗市 (川口中3年)
透逸 II
関 亮太 (川口小4年)
丸山真奈未 (川口中2年)
喜多村友子 (川口中2年)
鈴木 大輔 (川口中2年)
関 真理子 (川口中2年)
- 佳作**
小林 志乃 (川口中2年)
江島 健矢 (川口中2年)
佐藤 佳子 (川口中2年)
- 子どもに無煙環境を!**
全国キャンペーン
標語・川柳の部
入賞
覚張亜莉紗 (川口中3年)

保育園 だより

「大きくな〜れ!」

地域の皆様1年間ありがとうございました

卒園式がせまり、1年間があっという間に過ぎようとしています。今年度は、地域の方々からたくさんのご協力をいただきありがとうございました。来年度も地域の方々とともに親子が、身近で安心して利用できる保育園を目指していきます。

今月号では、地域の方々との交流など1年間の活動を報告をします。

●1年間の活動報告

8月24日 おみこしワッショイ
西川口保育園



▲ワッショイ、ワッショイ

毎年、川西神社祭礼に合わせ、西川口保育園はおみこしを出しています。お祭りが来るのを待ちながらのおみこし作りは楽しみのひとつです。当日は家庭や地域の方

の温かい応援を頂き、「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声が響き渡ります。午後は公民館での演芸会にも出演し大勢の地域の方から頂く温かい応援が子どもたちの心身の成長に大きな力になっています。



▲発表会では地域の方に喜んでいただきました

1月14日 ミニ発表会
上川保育園

地域の方々はいつも暖かい心を寄せてくれます。出かける先では声をかけていただき保育園の行事には気持ちよく参加してくださいませ。

地域の方々に感謝の気持ちを込めて発表会を開きました。寒い日でしたが約50名が参加、たくさんの拍手とやさしい笑顔に囲まれて本当に、うれしそうなお子様もたちでした。

2月17日 お店やごっこ
東川口保育園



▲どれにしようかな

「いらっしやいませ!」「10円で!」「ありがとうございます!」「10円です。」の在園児の元気な声の中に来年度入園予定の2歳児も一緒にお店やごっこを楽しみました。子どもたちはなにを買おうかと迷いながら

も、楽しそうに目を輝かせていました。

未就園児の皆様には、園開放にたくさんおいでいただきありがとうございます。ありがとうございました。

2月21日 こっこ感謝デー
田麦山保育園



▲感謝の気持ちをこめて肩たたき

いつも子どもたちや保育園のことを温かく見守ってくださいという地域の皆さんに感謝の気持ちをこめて14名の子どもたちが小学1年生の手伝いをお願いしながら「こっこ感謝デー」を開き、元気をプレゼントしました。よい天気と土曜日ということもあって総勢80名の参加がありにぎやかにそしてなごやかに楽しいひとときを過ごしました。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112



100万人目を祝う花束の贈呈

祝 和楽美の湯入館者

100万人達成

2月5日、和楽美の湯の入館者が平成9年のオープン以来、7年目で100万人を達成しました。100万人目になったのは小千谷市の滝沢ちいこさんと阿部清子さんと星野町長から記念品と花束が贈られました。



▲100万人の入館を達成した和楽美の湯

和楽美の湯については疲れがとれ、アレルギー体質によく効く湯で、眺めもよく気軽に来ることができると、近隣の温泉の中では一番気に入っているそうです。

和楽美の湯は平成17年の完成を目指して温泉棟を建設中です。これからはより多くの方からのご利用をお待ちしています。

マコモタケの生産農家を募集

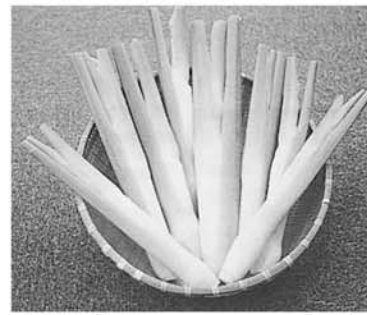
平成15年度から、マコモタケの試験栽培を町内約20の農家で行っています。今年は、面積を拡大し、町の特産品にしたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

マコモタケとは

東アジア原産のイネ科の多年草で、水の豊富な水田で栽培します。4月下旬から5月上旬に定植し、9月中旬から霜が降りるまでの間が収穫期間となります。丈は2m位まで成長し、根元の白い部分が食用となります。また2m近い葉については、お茶など、その他の利用方法を現在研究しています。

味はごいですか

強いアクやクセがなく、ほのかな甘みがあり歯触りも良く、高級中華食材として使われています。また、食物繊維やたんぱく質、ビ



▲マコモタケ

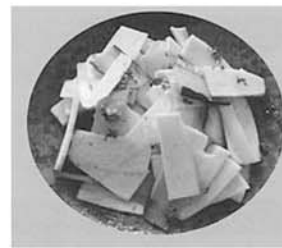


▲マコモ

タミン、ミネラル、カリウムを含む健康食品です。食物繊維が特に便秘に良く、またカリウムを多く含んでいますので、血圧を下げる効果があると言われています。

調理方法

サラダや漬物、天ぷらや炒めものなどいろいろ使えます。



▲マコモサラダ

水稲転作助成制度、畑作拡大運動と物産館出荷制度の説明会を開催します

米生産調整に関する転作助成（産地づくり交付金）、一戸一畝畑作拡大運動と物産館への農産物出荷協力について左記日程のお問い合わせ
農村振興課 ☎89-3113

説明会日程 各会場ともに午後7時30分～

日 時	対 象 地 区	会 場
3月22日 (月)	八郎場・上河原・長坂・下村	和南津集落開発センター
	野田・中山・竹田・牛ヶ首	中山生活改善センター
	川口1～7	川口町生涯学習センター
3月23日 (火)	小和北・相川口・岩出原・山の相川 団地・荒屋・川岸	西川口集落開発センター
	新敷・原新田・中新田・西倉	中新田集落開発センター
	牛ヶ島・貝之沢	牛ヶ島集落開発センター
3月24日 (水)	武道窪・相川1～3・荒谷	ふれあい交流館
	木沢・峠	木沢会館 よろみ
	前原・大形・田中・大谷内・小高	田 麦 山 会 館

悪い鬼は豆をまいて追い出そう 保育園児の豆まき



▲「鬼は外！」

2月3日は節分、町内の各保育園で豆まきが行われました。西川口保育園の園児たちは自分の追い出したいくせを発表、そこに赤鬼、青鬼が「ウォー」と現れました。泣いてしまう園児たちもいましたが、豆を「鬼は外！」と一生懸命に投げました。たくさん豆をぶつけられると鬼たちは退散して福の神になり、アメやチョコをまいてくれました。

体長140センチの ニホンイノシシが捕獲される

2月13日、小高から1時間ほどの山の相川へ向かう山中でニホンイノシシが捕獲されました。



▲捕獲されたニホンイノシシ

捕獲したのは、長岡市在住の方で鳥を追って山に入ったところ、体長140センチの大イノシシが現れました。突然のことに驚きながら銃を撃ち見事にしとめたそうです。

小千谷、北魚沼地方には生息の記録はなく、イノシシを見るため

ふるさとの味は健康のもと ㉔

山の幸・川の幸・里の幸
かわぐちのごっつお
たたきごぼう



昔は甲事の時に作ったそうです。
きんぴらと違いやわらかいので、お年寄でも
ごぼうが食べられます。

- 材 料
- ごぼう……………中2本
- ごま……………20g
- くるみ……………40g
- 砂糖……………大さじ3
- 酢……………大さじ4
- しょうゆ……………大さじ1

- 作り方
- ①ごぼうは皮をこそげ、水に漬けてアク抜きを
する。
- ②ごぼうは長いまま柔らかく茹でる。
- ③茹でたごぼうをすりこ木でたたき、3～4cm
の長さに切る。
- ④すり鉢にごまとくるみを入れてよくする。こ
の中に調味料を加えてすり混ぜ、味を調べて、
ごぼうを和える。
※酢・砂糖の量は好みで加減してくださ
い。
※ごぼうには食物繊維が多く含まれていま
す。

「かわぐちのごっつお」は
食生活改善推進委員が紹介しています



右から
中林 里江 (川口1) ☎81-4200
星野 美香 (川口4) ☎89-2811

21世紀は私たちが主役！ ㉕



廣井さんは、川
口土建でお仕事を
されています。
息子の彪磨く
んとサッカーを愛
する好青年です。

▼仕事の内容は…？「現在は新川口橋の橋台工事などの
現場で仕事をしています。県道の除雪もしているので、
雪が降ると朝2時に起きて出かけています。」▼仕事で
大変な時、また楽しい時は…？「外の仕事なので夏は暑
い冬は寒くて大変ですが、いろいろな重機に乗ること
ができるので楽しいです。」▼趣味は…？「サッカーで
す。中学校の頃からやっていて今は大和町にあるチーム
に所属しています。雪の降る前までは休日になると毎週
試合をしています。」▼好きなサッカー選手は…？「中
村俊輔です。華やかなプレースタイルが好きですね。」▼
行ってみたい場所…？「次のワールドカップがドイツで
あるので、ぜひ観にいきたいですね。」▼町に期待する
ことは…？「サッカーをすることができる芝生のグラウ
ンドを作ってほしいです。」

餅搗きや孫から順に三世代
平穩に過ぐる幸せ袖子の風呂
新雪に靴跡手あと幼らは
かの人の在ばと偲ぶ初句会
初景色驚の舞ひかふ魚野川
駅伝や赤城嵐を背にし
励ましてくれる孫をり福寿草
黄昏の稲荷の辺り笹子鳴く
戸閉まりを頼みて妻は初仕事
門松を仕上げ一服加賀訛
■老人クラブ俳句教室 3月4日(休) 末広荘
■公民館句会 4月4日(日) 生涯学習センター
※出句締切 午後1時

森山 みえ
丸山 好枝
宮 ヨキ
三輪 京子
村山 くら女
目黒 せつ
森山 菊江
山田 チヨ
山田 久子
渡辺 登子
佐藤 信

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！
企画商工課 ☎89-3112

みんなの広場

将来のオリンピック選手をめざせ

町内小学校親善クロスカントリースキー大会



▲緊張のスタート

2月13日、蒼丘の杜公園におい
て町内小学校5、6年生による第
10回川口町小学校親善クロスカ
ントリースキー大会が開催されま
した。
当日は、天候に恵まれ絶好の競
技日和、越後三山を見ながら走る
全長2kmのコースで個人競技、リ
レー競技が行われました。
個人競技では、約100名が参
加し日頃の練習の成果を発揮して



▲リレー競技、優勝はどの学校か

タイムを競い、リレー競技では、
各学校の選手3名がそれぞれリ
レー、順位を競い合いました。
ゴール前で激しく競り合う場面
もあり、会場は白熱の競技と応援
で熱気に包まれていました。また
競技の合間などには他校の生徒と
仲良く話したり、親睦も深めた
ようでした。
(結果については、11ページに記
載してあります)

元気です！かわぐちっこ ㉖

三輪 侑加 ちゃん (川口5・3歳)
おとうさん 敏子さん
おかあさん 哲士さん



いつも元気でほがらかです。でも最近はずかしがりや。今年から東川口保育園に入ります。どうぞ宜しくお願いします。仲良くしてくださいね。

俳句

大内迪子先生選 公民館句会(1月12日)

- 手焙を持ち出し年賀客を待つ
 - 帰りきて留守居の夫にくず湯かな
 - 尻焚げ九十翁の雪掻かれ
 - 冬籠り我に至福の時なりし
 - 平穩に過ぎて感謝の大晦日
 - 初電話先ず大雪に触れ話けり
 - 喜寿と言ふ齢いたたくお正月
 - 良寛の手毬を取りて里ごころ
 - どんと焼き昇天したる福達磨
 - 三山の二日の夕日眩しめる
 - 里芋の皮むくだけの年用意
 - 朝日あび初霜光り雪のやう (十二月分)
 - 障子貼る後に猫の控へをり
 - 孫帰省尽きぬ話に除夜更けぬ
- 新宮 山紫
吉沢まさ子
上村たつお
石坂 シゲ
岡村佐和子
岡村 次郎
覚張 次郎
喜多村キヨ
鈴木 良仙
関 よし
藤田 節子
星野 きの
星野千恵子
星野千恵子
丸山 トシ